

【音楽・小4・いろいろなリズムを感じ取ろう】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 拍子やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、拍にのって歌ったり演奏したりすることや、反復や変化などの音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくることに関わる知識・技能を身に付けている。
- (思・判・表) 曲の特徴を捉えた表現や、まとまりを意識した音楽をつくる方法についての思いや意図をもつことができている。
- (主体態) 拍子やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取り、それらを生かして表現したり、友達と協働してリズムアンサンブルをつくったりする学習に取り組もうとしている。

ICT活用のポイント

グループのイメージに合ったリズムアンサンブルを練り上げる場面において、**録画機能**や**大型モニター**を活用することによって、自分たちの作品のよさや課題を見いだしながら、表現したいイメージにより近づけるような工夫ができるようにした。

前時までの学習を振り返り、
本時の学習課題をつかむ

グループのリズムアンサンブルを
イメージに近づけよう

自分たちが表現したいイメージに近づけるように、リズムを入れ替えたり演奏の仕方に変化を付けたりして表現を工夫する

各グループのリズムアンサンブルを発表し合い、よさや面白さを共有・共感する

学習のまとめをし、本時の学習を振り返る

事例の概要

グループのイメージに合ったリズムアンサンブルをつくるために、前時の演奏動画を視聴し、よさや課題を基に改善策を見だし、表現を工夫する。
学級全体で、各グループのリズムアンサンブルを発表し合う際に、投影されたグループの楽譜を見ながら、リズムアンサンブルを聴き、よさや面白さを共有・共感する。

【事例におけるICT活用の場面①】

録画機能で撮影した自分たちが演奏している動画を、楽譜を投影しながら視聴し、リズムアンサンブルと楽譜とを照らし合わせる。

【事例におけるICT活用の場面②】

大型モニターに映し出された楽譜と共に、他のグループの演奏を聴き、自分のグループのリズムアンサンブルと比較する。

【音楽・小4・いろいろなリズムを感じ取ろう】②

【事例におけるICT活用の場面①】



- C1 : 前の演奏は声の高さがあまり変わらなくて、イメージに合わないな。
C2 : たい焼きのイメージは、お店の前でお腹が減っている感じで、たい焼きを焼き始めたらワクワクして、食べたときの美味しさを伝えたいね。
C3 : そうしたら、最初は低い声でだんだん高くなるのはどうかな。

子ども達は、グループでたい焼きのイメージを表現しようと、リズムアンサンブルを工夫してきた。前時の演奏を見ることで、自分たちのリズムアンサンブルを客観的に評価することができた。たい焼きという言葉のリズムを意識し、呼びかけと答え、反復等の工夫を改めて見直し、イメージに合ったリズムアンサンブルをつくり上げることができた。これは、楽譜を写しながら演奏が聴こえるという動画により、子どもの思考が楽譜と演奏を照らし合わせることに焦点化されたためであると考えられる。

【活用したソフトや機能】 ・録画機能 ・端末による映像確認

【事例におけるICT活用の場面②】



大型モニターで
工夫を確認

演奏を聴く子どもたちは、演奏の前に、グループのイメージと工夫したところを共有した。楽譜と照らし合わせながら、リズムアンサンブルを聴くことで、グループのリズムアンサンブルのよさや面白さを発見していた。これは、楽譜が大型モニターに映し出されることにより、聴いている子ども自身のリズムアンサンブルの工夫を基に、グループの工夫を自覚することができたことや、イメージと楽譜と演奏を関連付けることができたためであると考えられる。

- C4 : グラタンの班のリズムアンサンブルはイメージに合ってるね。
C5 : 声の高さの変化があるからだね。とても上手だね。

【活用したソフトや機能】 ・カメラ機能 ・モニターによる映像確認